

都立葛飾ろう学校放課後子供教室

■実施組織

文泉こどもクラブ実行委員会

構成メンバー 学生ボランティア（筑波技術大学・聖徳大学）

地域ボランティア（かつろうサポーターズ） 教員（チーム文泉）

保護者（有志）

■プログラム内容

午後 学習教室（約1時間、年10回）

ものを作る教室（筑波技術大学オリジナル教材 年5回）

からだを動かす教室（デフバスケットほか 年2回）

ワークショップ・表現教室（年1回）

本校食物系料理教室（年2回）

夏祭り・サンサンカーニバル（年1回）

休日 聴覚障害者の成人式（年1回）

ダイバーシティイベント（子どもたちは手話指導者側、年2回）

■実施規模

年間：土曜日12日、休日2日

■活動のPR

文泉こどもクラブの9年目がスタートしました！！

葛飾ろう学校の特色である専攻科食物系の料理教室、子どもたちにも大人気です。

通常活動では、聖徳大学の学生さんに見てもらいながらの学習を1時間。その後に筑波技術大学生による「ものづくり教室」や地元聴覚障害者連盟の協力で「からだを動かす活動」を行ないます。

筑波技術大学は日本唯一の視覚障害者と聴覚障害者の為の大学で、本校の卒業生をはじめ、全国から集まった聴覚障害者が学んでいます。地元聴覚障害者連盟の方々はもちろん、料理教室をしてくれる専攻科食物系の生徒も、指導してくれる皆さんが子どもたちの輩の先輩であり、ロールモデルとして活躍してくれる姿は頼もしいです。

学習時間もからだを動かす時間も、公教育の中では出会えない学びがあると考えています。